



# 第1回

## 江別市学校給食用食器検討委員会

# 目次

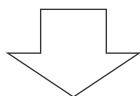
- 本委員会の役割 - - - 2
- 給食に使用している食器について - - - 5
- 今回、委員会を開催した理由 - - - 8
- 今後のスケジュール - - - 16

# 「江別市学校給食用食器検討委員会」の役割

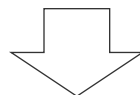
# 1. 江別市学校給食用食器検討委員会設置の経緯

平成17年、天然石食器製造中止

⇒教育委員会内部による検討のみで小皿をPEN食器に変更



PEN食器に対する安全性の不安から市民団体による抗議と要望



食器の変更の際には、計画の段階から情報を公開し、有識者、保護者の代表が参加する検討委員会を設置し、安全性を検討することとなった。

江別市学校給食用食器検討委員会設置要綱（平成19年11月29日決裁）  
（設置）

第1条 児童及び生徒に対し、**安心して提供できる学校給食用食器の選定**について検討するため、江別市学校給食用食器検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## 2. 江別市学校給食用食器検討委員会委員

### 江別市小中学校校長会・教頭会代表者

給食の提供がなされている小中学校の代表として、現場の児童・生徒の状況に深い知見のある方から意見をいただく。

### 江別市PTA連合会代表者

児童・生徒を育てている保護者の代表として、保護者の立場から意見をいただく。

### 学識経験者

給食、食器に関し専門的な知識が深い方に委員を依頼し、幅広い知見や経験に基づく大局的な意見をいただく。

### 市民公募委員

児童・生徒に提供する給食用食器について関心が高い市民の方を委員として募集し、市民の立場から意見をいただく。

# 給食に使用している食器について

# 1. 江別市の学校給食用食器の変遷について

給食には、平成13年以降、小皿、中皿、カップの3種類を使用している。  
(それまではカップ、皿の2種類)

平成24年から現在まで、3種類とも強化磁器食器

区分	小皿	中皿	カップ	箸
～H13.3		ホ°リフ°ロ°レ°ン	ホ°リフ°ロ°レ°ン	竹
H13.4～	天然石食器	天然石食器	強化磁器	竹
H19 2学期	PEN食器	天然石食器	強化磁器	SPS箸
H19.12～H24.1	PEN食器	強化磁器	強化磁器	SPS箸
H24.2～H25.11	強化磁器	強化磁器	強化磁器	PET箸
H29.5～H29.9	強化磁器	強化磁器	強化磁器	アミハード箸
R4～	強化磁器	強化磁器	強化磁器	アミハード箸

## 2. 強化磁器食器について

### 良いところ

- ・天然の鉱物から作られていて、化学物質が溶け出す恐れがない
- ・破損率は年間10%前後（当市実績）で、耐用年数が無いため破損しない限り使用することができる
- ・耐薬品性が強く、洗浄性に優れている
- ・硬く、傷がつきにくい
- ・耐熱性が高い
- ・破損を通じて「ものを大切にする」教育的効果があると思われる

### 悪いところ

- ・割れる（児童生徒が怪我をする、欠片が食事に混入する恐れ）
- ・重い（児童生徒が運搬時に食器カゴを足に落とす等の深刻な事故の原因になる）
- ・食器が熱くなりやすく、料理が冷めやすい



# 今回、委員会を開催した理由

# 1. 学校給食を提供するにあたり必要不可欠な要素

令和6年度に開催された学校給食の在り方検討委員会では、江別市の学校給食に何が必要不可欠なのかについても議論がなされました。

そこでは、「**安全、安心、安定**」が給食を提供するうえで大前提であるとされています。

「安全、安心、安定」を維持するためには、食材はもちろんですが、提供する**食器**も重要です。

.....

現在、江別市で使用している強化磁器食器について、**児童・生徒の事故につながる危険性があり、「安全」面で不安な点がある**と考えたことから、改めて検討をお願いします。

## 2. 強化磁器食器の取り扱い

強化磁器食器は「割れる食器」なので、割れた場合に破片が児童・生徒を傷つけたり、または破片が食缶に混ざり込み、それに気づかずに飲み込んでしまう危険性が潜在しています。

このような事故を防止するため、調理員による洗浄時の慎重な確認、割れる食器という認識のもと児童・生徒の給食時における丁寧な取り扱い、教職員による適切な指導が行われています。

こうした対応により、江別市では、平成24年に全ての食器を強化磁器食器に変えてから約15年間にわたり、**児童・生徒が大怪我をした事故は発生していません。**

.....

しかしながら、どれだけ調理員が慎重に確認しても、目に見えないような微細なひび割れ、見た目に変化は無いが経年劣化により脆弱化している食器を発見することは困難です。

その結果、学校に食器が配送された時点で食器が割れており、他の食器に破片が散っていた事案や、児童・生徒が丁寧に取扱っていたにもかかわらず配膳時に食器が破損し、**食缶などに破片が混入する事案が発生しています。**

### 3. 強化磁器破損におけるアクシデント（事故）①

江別市（令和7年6月25日）小学校で発生

1年生が配膳しているときにカップの底が突然抜けるように割れ、食缶（吉野汁）の中に破片が落ちてしまった



破片は食缶から取り除いたが、微小な欠片が混入した可能性を考えた担任教諭の判断により、その食缶内の吉野汁は配食しないで、他のクラスから分けてもらい、給食を完了した。

この事案では、担任の先生が適切な対応をしてくれましたが、「食べ物を無駄にするのはもったいない」という気持ちで破片を除去した後に配食を続けていたら、**見つけられていなかった欠片を児童が飲み込んでしまう**、といった大事故に繋がる危険がありました。

- ・江別市給食センターでは、市内25の小中学校、約9,000人に給食を提供しています。
- ・学校に食器が到着した時には既に食器が破損していて破片や欠片が食器カゴに落ちていた事案は年に10件程度発生しています。
- ・また、調理場内で破損を発見して除いたもの以外に、学校からの食器破損報告が年間約1,300件程度発生しています。

## 強化磁器破損におけるアクシデント（事故）②



微細なひび割れがある食器

2025年3月3日

小学校から連絡あり

配膳後、児童が自席で食べようとした際にカップから汁がもれていたことで判明

汁は体にかからず、火傷などの被害には至らなかった



底が抜けた食器

2025年6月25日

小学校から連絡あり

前述した事案の食器

ぶつけた訳ではなく、汁を注いだところ、いきなり底が抜けたように割れたとのこと。

## 強化磁器破損におけるアクシデント（事故）③

他市の例では、同様の事案で児童が口の中に入れて吐き出した事案が報道されています。

令和5年5月25日：東京都町田市：毎日新聞記事抜粋

「給食のかきたま汁に食器のかけら 市立小 底破損」

給食時、かきたま汁を喫食した 1 名の児童が、硬いものが含まれていることに気付き、口から出したところ、食器の欠片(3.5 mm程度)が混入していることを確認。

該当児童の健康状態等を養護教諭が確認したところ、怪我などの健康被害はなかった。

令和6年9月24日：北海道石狩市：日テレNEWSより

「給食の塩ラーメン…食べたら“異物”に気づいた小1女兒…正体はどんぶり碗の破片」

24日、石狩市立紅南小学校の1年1組の女子児童が、給食の塩ラーメンを食べたところ、口の中に違和感があり取り出すと、1センチ程度の異物が発見されました。

学校の養護教員が、女子児童の口の中などを確認し、けがや体調不良などの症状はなかったということです。

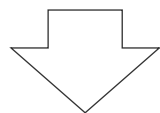
石狩市学校給食センターで確認したところ、見つかった異物は長さ13ミリメートル、幅6ミリメートルほどの大きさで、塩ラーメンの容器として使われた強化磁器のどんぶり碗の、高台の破片であることが分かりました。

## 4. 給食を提供する給食センターとしての考え

前述したように、強化磁器食器に更新した以降、児童生徒の大怪我につながるような事案は発生していません。

磁器食器は素材の安全性、傷のつきにくさ、教育的効果などから平成24年に検討された時点では、学校給食に使用する食器として最適な食器だと考えていました。

ただ、「割れる」ということは、広域かつ多数を配送しなければならない当市の状況では、調理場で**細心の注意を払っても防ぐことができない**ことであり、給食に破片が混入してしまう可能性を排除できないのが現状です。



- ・ 児童生徒に提供するうえで、このまま強化磁器食器を使用して良いか
- ・ 耐衝撃性、原材料など多面的に考えたうえで、より良い食器はないか

## 5. 過去の検討委員会による食器選定経過

○平成19年～平成24年の検討委員会による検討結果

材質	検討委員会による見解（非選択理由）
金属（アルミ）食器	・ 家庭で使用しないものを給食に使いたくない
ガラス食器	・ 割れた時に危険である
天然石食器	・ 製造中止により入手が困難
ポリカーボネート樹脂食器	・ 原料にビスフェノールAを使用している ・ 過去の報道等から不安感が持たれている
メラミン樹脂食器	・ 原料にホルムアルデヒドを使用している ・ 過去の報道等から不安感が持たれている
ポリプロピレン樹脂食器	・ 着色しやすく着色部に洗剤等が染み込む可能性
ポリエチレンテレフタレート（PET）樹脂食器	・ 個別規格がなく安全性に疑問が残る

上記の理由から強化磁器食器が選択され、現在も使用している。



# 今後のスケジュール

日程	内容
2025年12月上旬	第1回江別市学校給食用食器検討委員会
第2回検討委員会	1月下旬を目途に第2回検討委員会を開催予定
第2回以降	以降、2ヶ月ごとを目安に検討委員会を開催予定 (必要回数)
2026年6月（予定）	提言書の完成、教育委員会への提出